

子どもたちが誇れる春日部市に

春日部市議会議員 (次世代 かすかべ!)

吉田
みのるの

MY 通信

Minoru Yoshida

第15号



9月議会 特集号

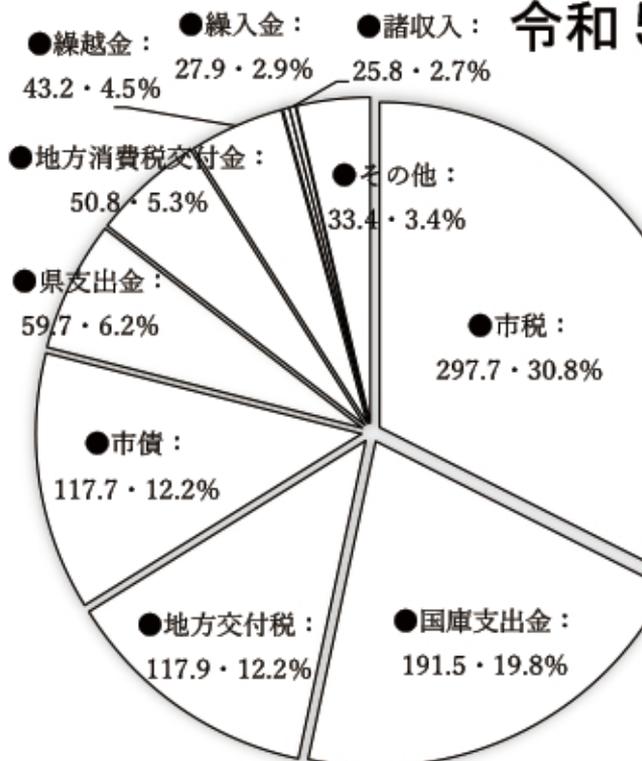
7・8月の異常な暑さのため、14号のポスティングができませんでした。更に、行政視察・衆議院総選挙もあり15号のポスティングが遅れてしまいました。今回15号と一緒に14号と会派の広報誌を配布します。15号は春日部市の決算を特集しています。是非ともお手に取ってご覧ください。

想いがみのる
願いもみのる
必ずみのる
吉田 みのる

2期目の主な役職

- ◇建設委員会 委員長
- ◆市立医療センター運営委員会 委員
- ◇次世代 かすかべ! 幹事長
- ◆春日部市「庄和大風文化保存会」顧問
- ◇西宝珠花区 会計
- ◆防災士

令和5年度の決算額は【966億円】



市税: 春日部市に納める税金
国庫支出金: 国が地方に支出する補助金等
地方交付税: 全国の市町村が等しく運営できるようにする交付金
市債: 国や銀行等からの借入金
県支出金: 県が市に対して支出する補助金等
繰越金: 来年度に繰越すお金
地方消費税交付金: 県が徴収した地方消費税の1/2に相当する額を、市町村に交付
繰入金: 基金から取り崩したお金
諸収入: 延滞金・預金利子・貸付金元利収入・雑入など
その他: 使用料や手数料、法人事業税交付金など

春日部市の財政指標のチェック！！

比較項目	令和5年度 決算	令和4年度 決算	1年前の決算との比較と説明
住基人口	230,380人 (R6.3.31)	231,293人 (R5.3.31)	△913人：住民基本台帳を基にした人口
歳入総額	966.1億円	900.2億円	+65.9億円：春日部市の収入額
地方税の額	297.7億円	294.5億円	+3.2億円：市民の皆さんの税金
地方交付税の額	117.9億円	109.3億円	+8.6億円：国からのお金、先行き不安定なお金
職員数（一般）	1,029人	1,021人	+8人：毎年少しずつ増やしている
扶助費	258.6億円	235.3億円	+23.3億円：高齢者等の医療・介護費が多いため
地方債現在高	721.1億円	671.4億円	+49.7億円：借金の額、新市役所の建設費など
財政調整基金	41.8億円	51.7億円	△9.9億円：自由に使える貯金の額が少ない
財政力指数	0.709	0.726	△0.017：1未満だと地方交付税が貰える 大きい数値ほど、安定した財源がある
債務負担行為額	196.6億円	301.8億円	△105.2億円：来年度以降の借金の額が減少
経常収支比率	96.1%	95.7%	△0.4%：100に近いほど自由に使えるお金がない状態
実質収支比率	5.2%	8.3%	3～5%が適正値：数値が大きいと市民サービスが低下

吉田の総括



前年度よりも市民サービスは向上しています。しかし高齢化率が高い春日部市は、今後扶助費は伸びていく一方、借金は未来への投資ですが、国（地方交付税）に頼らず、自由に使えるお金を増やすために税収を上げる工夫（人口増・企業の誘致）が必要です。

※財政指標とは？

- ・国や市町村の財政状況（お金の出入り）を評価するための数値
- ・「市民の為に税金がしっかりと使われているか」を見るための数値

◆9月議会補正予算の主な内訳（一部抜粋）

- 防犯・暴力対策事業 約980万円
街頭防犯カメラの修繕等 通学路2台（備後東、下蛭田）、春日部駅西口周辺6台
- 地域脱炭素移行・再エネ推進事業 約3,340万円
公共施設（本庁舎、武里南小学校）へのPPA方式による太陽光発電設備・蓄電設備の設置に対する補助
- 市民文化会館運営事業 約3,440万円
市民文化会館空調設備の修繕

9月議会で取組んだ一般質問について（一部抜粋）

○東埼玉道路の

進捗について

○八潮市から「庄和インター交差点」へと繋がる地域高規格道路で、大きな期待を背負っている東埼玉道路の概要について伺う。

↓国の事業で、八潮市・草加市・越谷市・吉川市・松伏町を通過し、春日部市内の庄和インターまでの約21.6kmの道路で、「専用部（高速）」と「一般部（側道）」と呼ばれる部分に分かれている。

○用地買収については、水角近辺も話が進んでいると聞くが、事業の進み具合や用地の取得率など、現状について伺う。

↓「側道」の整備は、「吉川市川藤」から「春日部市水角」までの約8.7kmで事業が実施されている。「高速」の整備は、「八潮市八條」から「松伏町田島」までの約9.5

kmの区間について、東日本

高速道路株式会社と共同で事業が実施されている。

用地取得率は、令和5年度末現在で、一般部が約98%、専用部が約51%になっている。

○春日部市までの開通時期はいつ頃になるのか伺う。

↓現時点では公表されていない。



○「東埼玉道路」の更なる周知を図るため、そして地域の皆さんの機運を高めていくために、どのような取り組みを考えているのか伺う。

↓市民の方々のほか、商工団体の皆様と一緒に、「東埼玉道路」を考えるためのシンポジウムを開催し、意識醸成を図りたい。

【要望】

東埼玉道路が開通することで、春日部市が更に大きく変わるきっかけとなります。国・県への要望・連携はもちろんのこと、商工団体の後押しや地域住民の大きな声も含めて、一体となったまちづくりを推進し、そして「道づくり」が「まちづくり」へと変わり、春日部市の発展に関わる大事な事業の1つとして、「1日も早い完成」に向けて整備を促進することを強く要望します。

○西金野井第一

土地区画整理事業

について

○計画都市計画決定（住みやすいまちを実現するための内容を正式に確定する手続き）がされてから50年以上の時間が経ち、いわゆる「塩漬け状態」となっているが、なぜ事業認可がされなかったのか伺う。

↓関係者と調整をしたが、理解が得られない状況が続いた。当時の事業計画の認可権者である埼玉県に相談し、継続して地元と調整を重ねてきた。しかし埼玉県から「住民の理解と協力が不十分なままの状態」で事業を進めることは適当ではない」との見解が示され、事業推進が不可能と判断。その後、宅地開発が進み事業の実施には多額の事業費を伴うことから、事業化について更に難しい状況となった。（次ページへ）

○事業自体の見直しについての考えがあるのかを伺う。

↓地区計画など、地域の実情に応じた新たな整備手法について検討する必要があると考えている。

○事業地内には2本の都市計画道路が計画されているが、もし関係者の合意形成を図ることができ、西金野井第一土地区画整理事業が見直しとなった場合、この2本の都市計画道路(将来できる道)がどのような扱いになるか伺う。

↓都市計画道路とは、広域的な交通機能を持つ幹線道路であることから、事業の見直しの有無にかかわらず都市計画道路として存続する。事業の見直しを行った場合は、市において他事業の進捗状況や財政状況を勘案したうえで、都市計画事業として整備する。

○事業地内の北側、16号に近い場所に道に接していない



点線内が対象エリア



い未接道地(農地・畑)があります。非常に高い固定資産税や都市計画税を関係者の皆さんは、何十年と市に払い続けている状況だが、春日部市はこの土地についてどのような考えられているのか伺う。

↓土地利用が図りづらいことや通り抜け道路が少

ないことなど、課題を解決するため、土地区画整理事業の都市計画決定がなされたこと認識している。解決策としては、原則として、権利者との合意形成を図ったうえで、区域を限定した土地区画整理事業を実施することであると認識しているが、

地区計画など地域の実情に応じた新たな整備手法も検討する必要があると考えている。

【要望】55年間、様々な検討をしてきたかもしれないが、結果として表に出てくることがなかった「西金野井第一土地区画整理事業」。再び日の当たる場所に出し前に進めていくのは当然の事。春日部市として地域の皆さんが困っていることに対して、手助けをしないのはいかがなものか?是非とも検討ではなく前向きな取り組みをお願いしたい。

○市長へ予算要望

私の所属する党派「次世代かすかべ!」で、令和7年度の予算要望書(80項目近く)の要望を市長へ提出しました。皆さんの暮らしが少しでも改善されるよう引き続き取り組んで参ります。



岩谷市長(右から3人目)と吉田は左から3人目

一般質問の詳細は市の議会HPをご覧ください



発行

吉田みのる後援会

春日部市西宝珠花 52

048-748-1060

090-7635-2459

2024年10月発行